

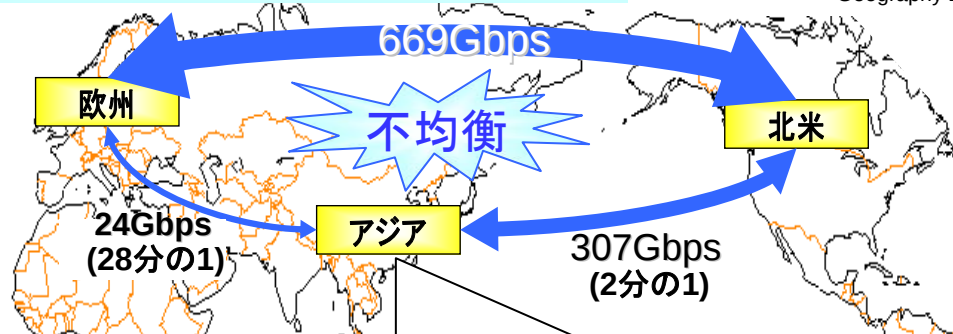
ICTを活用した アジア・ゲートウェイ機能の強化

平成19年3月27日
菅議員提出資料

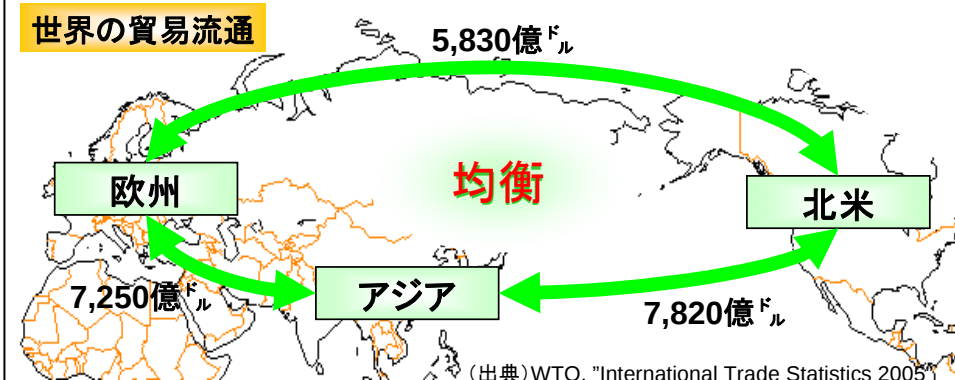
1. ICTを活用したアジア・ゲートウェイ機能の強化

欧州・北米・アジア間の情報流通量の現状

(出典) Primetrica, "Global Internet Geography 2006"

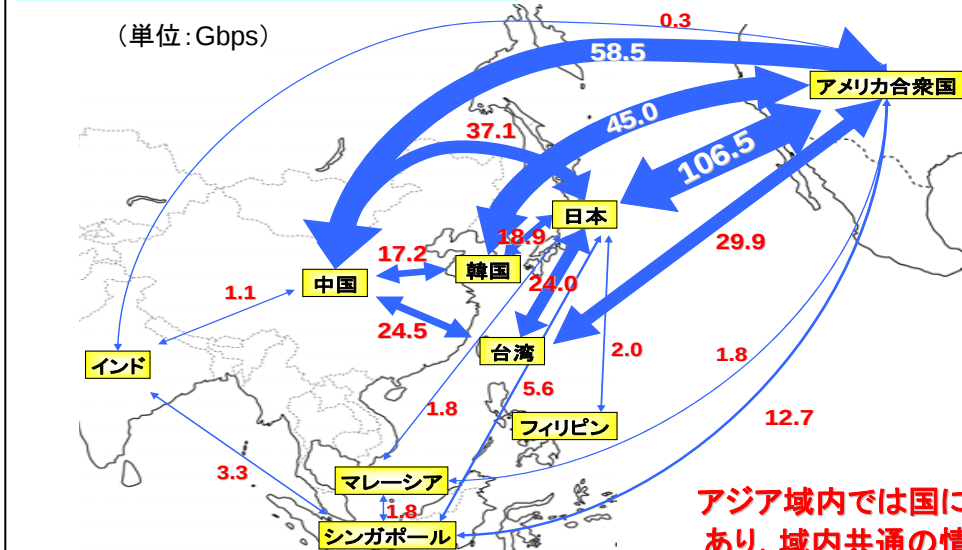


世界の貿易流通



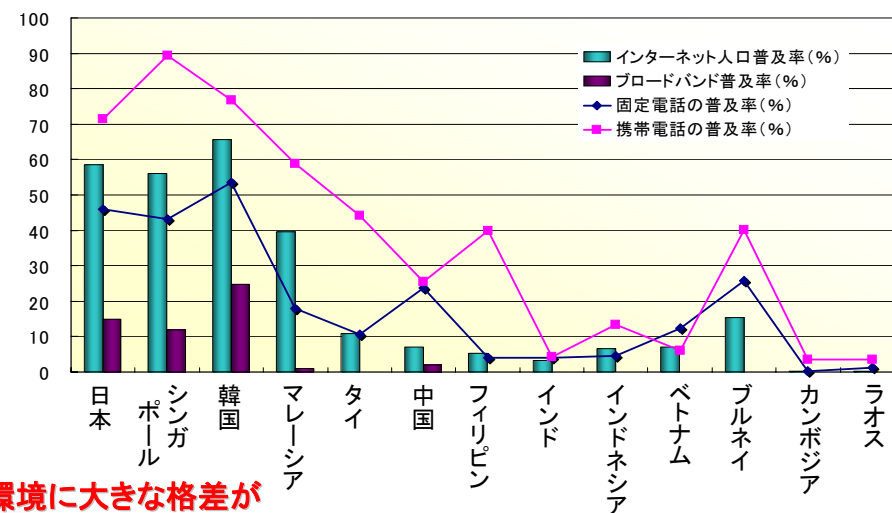
アジア域内のインターネット帯域幅

(単位: Gbps)



(出典) Primetrica, "Global Internet Geography 2006"

アジアにおけるインターネット及びブロードバンドの普及状況(2004年)



(グラフは主要国のみ掲載。出典: ITUレポート)

アジア域内では国によってICT環境に大きな格差があり、域内共通の情報通信基盤の整備が不可欠。

「アジア・ブロードバンド計画」の推進

アジアにおけるブロードバンドアクセスの普及、情報流通の拡大等を通じ、アジアが世界の情報拠点となることを目指す

我が国において、各国の自然・社会環境等を踏まえ、各国の取り組むべき事項を明確にした**広域的なネットワークの構想を推進**し、アジア各国に提示し、合意を得て、ネットワーク整備をODA等により重点的に支援。ブロードバンド環境が整備されることで、高度なICT利活用が可能となる。

(例: 防災ネットワーク、電子政府、遠隔医療、遠隔教育)

※ここでのアジア地域には、中国、韓国、ASEANをはじめ、インド、太平洋諸島、ロシアも念頭に入れることを想定

2. 最先端・グローバル光学术ネットワークの構築

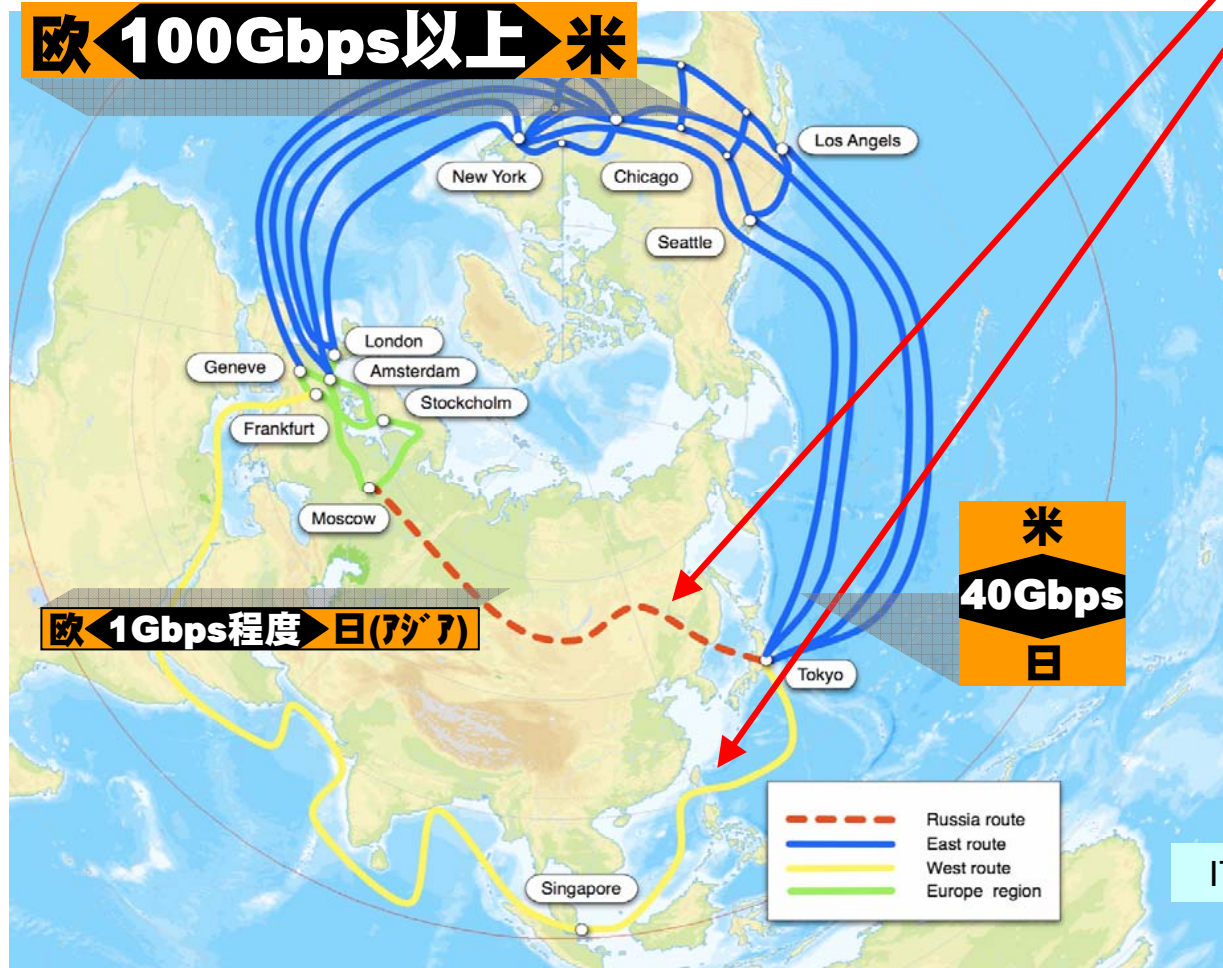
○学術ネットワークはアメリカを中心に発展

○日欧間のネットワークは、
・日米・欧米間に比べあまりに貧弱
（欧米間の1/100、日米間の1/40）
・アメリカ経由では伝送遅延が大きい

・リアルタイム性が要求されるアプリケーションの実行が困難
・米への依存度が高く、障害などへの柔軟な対応が困難（リスク分散）
・日欧共同大型プロジェクトの推進に障害

**日欧間ネットワークの開設
大容量(10Gbps以上)、
遅延が少ない(200ms以下)
日欧間直結の学術ネットワークを構築**

欧<100Gbps以上>米



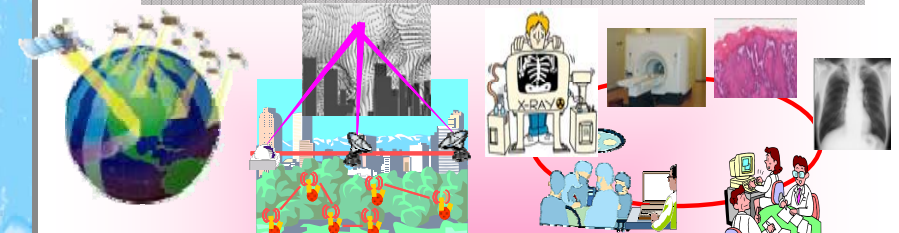
**米
40Gbps
日**

欧<1Gbps程度>日(アジア)

高度なICTネットワーク
への需要増大

高度なICT
ネットワークの供給

**最先端光学术ネットワークを活用した
大規模プロジェクトの推進**

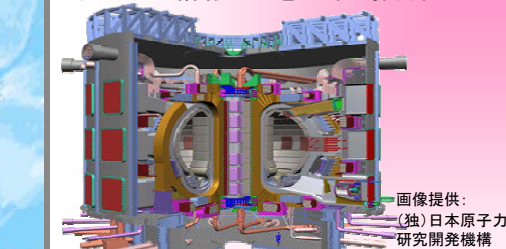


環境情報ネットワーク

衛星からの画像情報や全世界の環境センサ情報などを収集・解析。

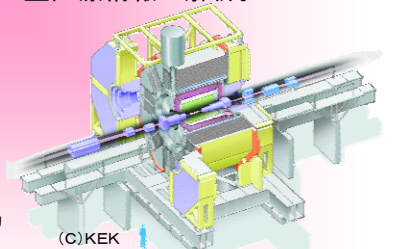
医療分野

高精細医療画像の伝送や大容量医療情報の解析。



ITER (国際熱核融合実験炉)

欧州のサイト(仏:カダラッシュ)との共同研究開発に利用。



高エネルギー物理学

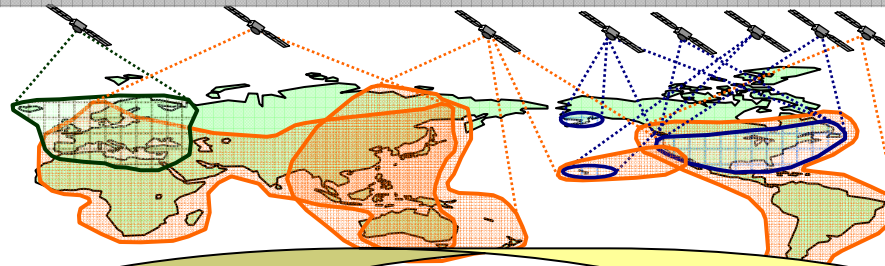
遠方の研究サイトでも、大容量の測定データを瞬時に解析可能。

3. 外国人向けの映像による国際放送

世界が一段とボーダレス化する中、我が国のプレゼンスの維持・向上、経済力以外の面での国際貢献の充実の観点から、ソフトパワー、対外情報発信力の強化が必要。

NHKテレビ国際放送を再編、外国人向け部分を強化した新たな放送を開始（今通常国会に放送法改正案提出予定）。

平成21年度当初又は20年度後半に開始。



『日本の対外イメージの向上、親日感の醸成』『欧米によるアジア理解の向上』を直接の狙い。

オピニオンリーダー及び次世代をターゲット。
等身大の生活・文化等の発信、多元的なアジア情報の発信を基本に
魅力ある番組を提供。

外国人向け番組制作体制、インターネットも活用した効果的配信体制
を抜本的に整備。

究極的に産業振興、観光・対内投資誘致(※)等、
幅広い国益を実現

円滑な立ち上げには、
政府一体となった積極的な支援が必要

欧州及び中国等において、国策的な観点から、対外映像情報発信を強化する動きが活発化。

フランス 官民出資の新会社「フランス24」が昨年12月放送開始（運営経費約120億円）。

中国 小型アンテナでの視聴可能な衛星放送・CATVへの配信枠を積極的に取得。

カタール 「アルジャジーラ」が新たに英語放送「アルジャジーラ・インターナショナル」を開始。

※ 北海道テレビが海外局を通じて
放送した「北海道アワー」の効果で、
台湾を中心に「北海道観光ブーム」